

# GREEN RADAR

重点事業方針 A-Policy

## JA-SS POSシステムの更新

～新機能の活用によるSS競争力の強化～



中期事業計画（平成28～30年度）

## 自己改革の進捗状況について

レポート A-Reports

- ・松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」を開催！
- ・県産農産物の高品質、豊富な種類、安全・安心をPR  
～「いきいき信州！ 農産加工品展示商談会」に参加～
- ・初の初戦突破  
～「全農関東甲信地区役職員親睦野球大会」開催～

Vol.450

NOVEMBER 2016

11



松本山雅FC  
ホームゲームで  
「JA全農長野デー」  
を開催！



光と風と水のハーモニー

JA全農長野

燃料・ホーム  
エネルギー課

# J A I S S P O S システムの更新

## 新機能の活用によるSS競争力の強化

SS事業を取り巻く環境は、乗用車保有台数の減少、軽自動車の増加、H V 車・E V 車の増加等により需要が減退しており、その速度は今後も加速することが想定されます。また、需要の減退を背景にSSの廃止が相次いでおり、この動向は系統のSS事業においても同様といえます。

この様な環境下でのSS事業の継続には、組合員、消費者に選ばれるSSとなることが必須であり、J A I S S 独自のサービス提供が必要となります。これまで、お客様に選択していただくための店作り、ドライブウェイサービスの向上等に取組んできましたが、現在、ハード面の整備として、県下のJ A I S S のPOSシステムの更新に取り組んでいます。これまでのPOS（E R I X ・POS）は、平成14年より導入を開始した機器のため老朽化が進行しており、早急な更新が必要な状況であることから平成27年度よりJ X エネル

ギー（株）開発の新POSシステム（E N E R I S ・POS）への更新を開始しました。今回の更新は、事業環境が厳しくなる中で、単に経年した機器を更新するだけではなく、「顧客利便性の向上」および「SS競争力強化」を図っています。

- E N E R I S ・POSは、『運営店・SSにとつて使いやすい、お客様にとつて簡単・便利、さらに社会にとつて安全・安心なシステム』をコンセプトに開発されており、次の6点が特徴としてあげられます。
- ①外設機画面への大型高輝度カラー液晶の採用と、スムーズな画面切替により操作性を向上
  - ②スマートフォンをセルフ外設機にかざす「ワンタッチ給油」によりお客様の利便性を向上
  - ③お客様の購買実績の蓄積により、購買動向に応じた販促（動画・クーポン等）を実現
  - ④POSデータのリアルタイム送信

化により、各SSの営業情報（売上・在庫・入出金等）の即時把握が可能

- ⑤クレジットカード番号を暗号化し、カード情報漏洩リスクを低減
- ⑥バックアップシステムにより大規模災害時においても営業継続が可能

POSの更新を完了したSSにおいては、購入金額や購入数量を条件に値引き券を出力し次回来店を促進する顧客固定化の取り組みや、セルフ洗車機のPOS連動によるクレジットカード決済客のSS誘客、油外収益の拡大等、POSの新機能を活用した販促活動を試行展開しております。今後も引き続き協同経営加盟SSを中心に、販促活動に取り組み、J A I S S における集客、顧客固定化の取り組みを強化して参ります。

県下のJ A I S S では157SSにPOSが導入されていますが、このうち平成27年度に16SSの更新を完了しました。今年度は46SSの更



使いやすくなったセルフ外設機

新 POS システム

# A-Policy



## 中期事業計画（平成28～30年度） 自己改革の 進捗状況について

全農長野県本部は、JAおよび子会社とともに、JA自己改革の進展を加速化させ、農業所得の増大と地域の活性化に取り組んでいます。

### I. 【自己改革における最重点施策】 平成28年9月末時点での総括

#### その1 営農支援体制の充実《担い手に対する出向く体制強化および労働力確保》

- (1) 全JAで実施した担い手対応ヒアリングに基づき、方策を協議し今後実行していきます。労働力確保については、現場実態の情報収集や調査・検討を行い、研究会を今年度中に開催予定です。

- (2) 畜産・酪農については県本部主導による素畜の生産拡大やJAと一体となった営農指導の強化に取り組む、生産基盤の維持と営農の継続をサポートしています。

#### その2 農業所得の増大《JA・県域による販売力強化とコスト削減》

- (1) 多様化する生産者ニーズに沿った品目別生産振興策の検討や、多収穫・省力化栽培技術の拡大に向けた現地検討を各地で実施しました。また、積極的な消費宣伝活動を通じ、長野県産農畜産物のブランドの浸透に取り組んでいます。
- (2) 生産資材の品質維持・向上と生産者や小売業者のニーズに即した資材の開発と普及を図る一方、生産コスト低減のため、新たな流通方式や事業の立ち上げも含めた合理化に取り組んでいます。

#### その3 ライフラインの充実《地域の生活基盤整備》

- (1) 運営経費の圧縮とともにJA・子会社や県域組織と連携して事業量の維持に努め、地域のライフラインを維持し安心して暮らしやすい地域社会づくりに貢献しています。
- (2) より一層の商品PRによる既存取扱品目の魅力の発信とともに、ライフスタイルの変化に応じた新しい事業や商品の取扱強化が求められており、スピード感を持って対応していきます。

### II. 各事業別 9月末進捗状況

#### 【JA長野県営農センター】

##### 1. 中心的担い手の育成・支援

| 実行具体策              | 28年度計画 | 進捗状況 | 達成度合いと今後の進め方                        |
|--------------------|--------|------|-------------------------------------|
| (1) JAと県域の出向く体制整備  | 全JA    | 協議中  | JAによって担い手対応の体制や考え方に違いがあるためJA別に協議する。 |
| (2) 労働力確保情報交換会等の開催 | 4回     | 1回   | 11/9、12/2に事例研究を行い、2月に取り組みの方向付けをする。  |

##### 2. 営農指導体制の強化

|                          |     |       |                                       |
|--------------------------|-----|-------|---------------------------------------|
| (1) 担い手アンケートにもとづく指導体制強化  | 6JA | 新規2JA | 担い手のニーズに対応したJA・県域の推進体制整備を進める。         |
| (2) 品目別ボトムアップ研修会開催（受講者数） | 20人 | 未実施   | 野菜については昨年度実施したため、本年度は果樹を対象に12月以降実施する。 |
| (3) 指導者会議<br>ブロック別検討会開催  | 20回 | 22回   | 4地区ごとに実施回数は異なるが、計画に沿って活動を行う。          |

##### 3. 栽培技術等によるコスト削減推進

|                                          |            |            |                                           |
|------------------------------------------|------------|------------|-------------------------------------------|
| (1) リンゴM9台木の取木繁殖<br>技術定着推進と、ウィルスフリー化台木生産 | 35千本       | 生育管理中      | 11月の堀上げを目指して良質な苗木の生産を行う。                  |
| (2) 業務用多収穫省力化<br>技術研修会開催                 | ①2回<br>②3回 | ①1回<br>②4回 | ①りんご高密植わい化栽培による収量向上<br>②キャベツ機械収穫一貫体系の実践検証 |
| ①供給先別果樹多収穫技術研修会<br>②業務用野菜栽培技術研修会         | ②3回        |            |                                           |

##### 4. 安全・安心な信州農作物の生産・供給

|                    |         |         |                      |
|--------------------|---------|---------|----------------------|
| (1) 残留農薬自主検査の実施    | 1,700検体 | 1,393検体 | 計画どおり実施していく。         |
| (2) トレース産地条件の整備と推進 | 調査・検討   | 調査の実施   | トレースフォワードの調査・検討を進める。 |

| 【畜産酪農部】                     |          |                   |                                                |
|-----------------------------|----------|-------------------|------------------------------------------------|
| 実行具体策                       |          | 28年度計画            | 進捗状況                                           |
| 1. 生産基盤の維持確保                |          |                   |                                                |
| (1) 空舎利用による生産農場の稼働          | 2農場      | 2農場稼働             | J Aと連携し新たに2農場について準備を進めている。                     |
| (2) 生乳出荷量の確保                | 100,000t | 49,668t           | 畜産クラスター事業による増頭により、8月以降単月で前年を上回っている。            |
| 2. 信州産ブランドの確立               |          |                   |                                                |
| (1) 信州プレミアム牛肉の販売促進          | 2,300頭   | 928頭              | 空舎利用および集荷強化による頭数確保に努める。                        |
| (2) 特色ある「信州産」牛乳・乳製品の商品開発・販売 | 開発・販売    | 松本山雅牛乳使用ソフトクリーム販売 | 真田丸・御柱祭に絡めた農協牛乳キャンペーンを実施した。冬期にも新たなキャンペーンを展開予定。 |
| 3. 飼料用米の流通体制の確立             |          |                   |                                                |
| (1) 流通数量                    | 2,000t   | 取りまとめ完了           | 平成28年度米では前年度並の1,200tを確保している。                   |
| 4. 地域畜産酪農営農センターの設置          |          |                   |                                                |
| (1) 進捗状況                    | 1箇所検討    | 2箇所検討             | 具体的検討に着手している。                                  |
| 5. 県本部生産農場の素畜供給機能拡充         |          |                   |                                                |
| (1) 素牛販売頭数（二岳牧場）            | 35頭      | 12頭               | 優良血統繁殖牛の県内保留拡大を進める。                            |
| (2) 素子豚供給頭数（SDF豚繁殖センター）     | 21,500頭  | 10,289頭           | 子豚事故防止により出荷頭数を確保する。                            |
| (3) 初妊牛上場頭数（ハケ岳牧場）          | 10頭      | 2頭                | 10、12、2月に開催される市場での上場を予定している。                   |

| 【生産販売部】                            |                                  |                                |                                                                     |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 実行具体策                              |                                  | 28年度計画                         | 進捗状況                                                                |
| 1. 生産基盤の維持・拡大                      |                                  |                                |                                                                     |
| (1) 多収穫・省力栽培による規模拡大                | ①165万本<br>②キャベツ1,000t            | ①224万本<br>②キャベツ756t            | ①旧盆・秋彼岸出荷を含めた振興対策実施。<br>②11月末最終見通しは1,060t。機械収穫を実施し（50t）、導入に向けた検討する。 |
| (2) 計画・適正生産の推進                     | ①新規1万本<br>②220万ケース<br>③1,300万ケース | ①1万本<br>②258万ケース<br>③1,266万ケース | ①苗木の出荷販売先を調整。<br>②計画を超過したため、数量抑制の啓発と作物転換をすすめる。<br>③秋作の作柄安定対策を検討する。  |
| 2. 集出荷対策の向上                        |                                  |                                |                                                                     |
| (1) 多様な生産者（大規模農家・法人・系統外含む）への販売企画提案 | リスト作成・新規4件                       | 法人リスト作成                        | ・加工業務用キャベツの米地帯への定着推進を行った。<br>・加工用セリリーの継続試験を実施。次年度は実用化に向けた試験を継続する。   |
| 3. 商品提供力の強化                        |                                  |                                |                                                                     |
| (1) 多様な販売手法への取組                    | ①8,000コンテナ                       | ①8,000コンテナ                     | 長期保存に向けた1MCP処理ならびに冷蔵庫への順次入庫をすすめている。                                 |
| (2) 加工・業務需要、輸出事業への対応強化             | ①検討                              | ①試験中                           | 県と連携し、2J Aで防除試験を実施中。今後、結果を整理し普及前検討を行う。                              |
| (3) 総合品目宣伝による認知度向上                 | 実施                               | 実施                             | ロゴおよび資材を統一した。実施イベントの効果について次年度に向け整理を行う。                              |
| 4. J A・県本部一体となった長野米集荷推進の実施と販売力強化   |                                  |                                |                                                                     |
| (1) 集荷重量                           | 80,000t                          | 73,850t                        | 概算金の増、集荷奨励等を通じて、出荷契約数量を上回る集荷を目指し推進する。                               |

| 【生活部】             |           |           |                                                           |
|-------------------|-----------|-----------|-----------------------------------------------------------|
| 実行具体策             |           | 28年度計画    | 進捗状況                                                      |
| 1. 石油取扱数量の確保      |           |           |                                                           |
| 取扱数量              | 324,000kl | 129,070kl | 下期は灯油需要期に向けた対策実施と、灯油未利用のガス利用者および新規定期配送会員獲得に向けた推進を強化する。    |
| 2. ガス取扱数量の確保      |           |           |                                                           |
| 取扱数量              | 19,800t   | 8,425t    | 供給戸数減少の中、保安指導と器具推進により実績の維持を図る。今後、ガス未利用のJ A灯油利用者へ重点的にPRする。 |
| 3. 自動車取扱台数の確保     |           |           |                                                           |
| 取扱台数              | 3,000台    | 1,215台    | 営農車を中心に各種推進施策を展開し台数を確保した。下期にむけ拡販策を展開し計画達成を図る。             |
| 4. SS協同経営販売数量の確保  |           |           |                                                           |
| 販売数量              | 95,642kl  | 46,253kl  | 統一・独自供給促進に取り組み販売強化に努めた。今後も拡販施策の取組強化による推進を行う。              |
| 5. 宅配おまかせ会員戸数の維持  |           |           |                                                           |
| 会員戸数              | 7,800戸    | 7,340戸    | 利用者は高齢化に伴い減少傾向であるが、J A等と連携し、利用者懇談会や女性部組織の協力による事業PRを強化する。  |
| 6. 家庭薬配置戸数の確保     |           |           |                                                           |
| 配置戸数              | 9,000戸    | 9,000戸    | 配置戸数は高齢化に伴い減少傾向であるが、健康増進事業としてPRし、配置体制の確保とJ Aと協力連携した推進を行う。 |
| 7. セレモニー県域施行件数の確保 |           |           |                                                           |
| 施行件数              | 3,400件    | 1,619件    | 急激に増加する小規模葬・直葬への早急な対応を図る一方、セレモニー会員獲得に向けた新たなメリット創出を検討する。   |

| 【生産購買部】                          |          |             |                                                             |
|----------------------------------|----------|-------------|-------------------------------------------------------------|
| 実行具体策                            |          | 28年度計画      | 進捗状況                                                        |
| 1. 販売と連携した包材の開発普及                |          |             |                                                             |
| (1) 段ボール原紙アイテムの集約（累計アイテム数）       | 3アイテム    | 0アイテム       | 12月から5アイテム集約に向けて提案・試験を継続する。                                 |
| (2) 流通から小売までの潜在的なニーズを捉えた包装資材の開発  | 2J Aで採用  | 1J Aで採用     | 採用された形態を他J Aに提案し、他の形態についても提案・試験を継続する。                       |
| 2. 肥料農薬の担い手推進                    |          |             |                                                             |
| (1) 「わたしの肥料」の拡大                  | 2,200t   | 84t         | 本格受注は下半期。担い手推進の主要なツールとしてJ Aと一体的に活動する。                       |
| (2) BB肥料工場・農家直行方式の拡大（単肥との積み合せ配送） | 2,000t   | 1,269t      | ほぼ計画とおりの進捗。現状はBB肥料が大半、単肥との積み合せの拡大を図る。                       |
| (3) 担い手向け超大型企画農薬のメーカー・農家間直送の提案推進 | 水稻剤450ha | 水稻剤547ha    | 商品ラインナップ拡充により計画を上回った。次年度に向け提案を継続する。                         |
| 3. 農機コスト低減の取り組み                  |          |             |                                                             |
| (1) トラクター等の県域推奨型式設定による取扱重点化      | 1型式      | 0型式         | 県推奨型式研究委員会を立ち上げ、8／4第1回検討会を実施。コンセプト、馬力を決定。（第2回検討会は10／25開催予定） |
| (2) 中古農機の流通促進、レンタルの事業化           | 検討・施行    | レンタル事業11月開始 | 中古農機流通促進は買取策の素案段階。レンタル事業は11月開始予定。                           |

# 松本山雅FCホームゲームで「JA全農長野デー」を開催！



ハーフタイムにピッチから県産農畜産物をPR

全農長野県本部は10月8日(土)、プラクティスウエアスポンサーを務める松本山雅FCのホームゲームで「JA全農長野デー」を開催しました。全農長野が松本山雅FCのスポンサーになっているから毎年開催しており、7回目の開催です。

今年は「収穫祭」をテーマに、スタジアム横のファンパークで「豚汁」「もつ煮」「きのこのスープカレー」の3種類の鍋と県産米おにぎりの振る舞い、トラクターの展示、きのこ収穫体験、牛乳搾乳体験、山雅牛乳ソフトクリームの販売、11月8日発売のキリン氷結ストロング巨峰(全農長野原料供給)の試飲を行いました。鍋の振る舞いは時間前から長い列ができ、1,200杯が1時間半で終了しました。(株)関東甲信クボタとヤンマーアグリジャパン(株)の協力により今回初めて行ったトラクターの展示は、日頃接する機会の少ない大型の最新トラクターの運転席に乗り写真を撮り目線の高さを楽しんで

いました。

スタジアムでは、選手がナガノパープル一房に付いている粒の数を当て、来場者が一番近い回答を出した選手を当てるクイズを行いました。事前収録した選手のVTRが大型スクリーンで放映されると、試合では見られない選手の表情に来場者は大喜びしスタンドは盛り上がりました。ピッチでは運営委員会豊田実副会長が「これからも長きに亘りサポーターの皆様と共に、地元信州の農業と、地域の誇りである松本山雅を応援して参ります」とあいさつし、由井和行運営委員がキックインセレモニーをして試合が始まりました。

全農長野県本部は、この活動を、地域の皆様からの産地理解や全農長野県本部をはじめとしたJA長野県組織に関心を持っていただくきっかけにしたい、と取り組んでいます。



迫力のトラクター展示



年齢問わず人気があったきのこ収穫体験

▼総務広報課

## 県産農産物の高品質、豊富な種類、安全・安心をPR

「いきいき信州! 農産加工品展示商談会に参加」

全農長野県本部生産販売部は10月5日(水)JA長野信連主催の「いきいき信州! 農産加工品展示商談会」に共催者として参加しました。加工品の原料となる、県産農産物の品質の高さや種類の豊富さ、安全・安心への取り組みについてのバネ



長野県農村工業研究所の研究員によるミニ講座



旬の農産物をPRする担当者

ル展示や、秋映・南水など旬の果実を試食提供してPRしました。

(一社)長野県農村工業研究所の研究員によるミニ講座は、高圧加工技術を使った「まるかじりんご」の商品性の高さや、市田柿の加工技術確立の課程を紹介しました。参加者からは「果実の加工技術について興味深い話が聞けた」などの声が聞かれました。

この商談会は昨年に続き2回目の開催で、本会と県内JA、農業法人、農業関連法人など計48団体が出展。300以上の商品が出展され400人以上のバイヤーが来場しました。

## 初の初戦突破!

「全農関東甲信地区役職員親睦野球大会」開催

9月24日(土)・25日(日)の2日間にわたり、埼玉県さいたま市において全農関東甲信地区役職員親睦野球大会が開催されました。この大会は、職員の健康増進及び関東甲信地区の都県本部間の親睦をはかることを目的として、今年度で3回目の開催となります。

今年度は、関東甲信各都県より9県本部、全国本部を含め計10チームが出場し野球を通じてお互いの技量を競い合うとともに、本部間の交流を深めました。

全農長野県本部は1回戦で東京都本部と対戦し、接戦を制し今大会初勝利を挙げました。次戦の群馬県本部戦には破れたものの順位決定戦に勝利し、本大会は5位という結果となりました。なお、優勝は群馬県本部、準優勝は茨城県本部となり、この2チームが全国野球大会に出場することとなります。



## ネットメディア関係者等を招待して果実のおいしさを発信

「野菜ソムリエK A O R Uの銀座d e信州フルーツマルシェ」開催

全農長野県本部生産販売部は9月27日(火)、長野県の情報発信拠点銀座N A G A N Oと共同で「野菜ソムリエK A O R Uの銀座d e信州フルーツマルシェ」を開きました。

秋映、南水、シャインマスカット、ナガノパープルなど旬の果実を用意し、おいしさの理由や飾り切りの技術を伝え、目で見て楽しみ味わう方法を提案しました。

※キュレーションスイトやブログ・会員制交流サイト(S N S)を使って情報を拡げてもらおうと、ネットメディアの記者や野菜ソムリエ、ブロガーなど19名を招待しました。

飯綱町出身の野菜ソムリエK A O R Uさんを進行役に、生産販売企画課の片桐雅樹課長が講師となり、「標高の高さや内陸性気候などの地理的条件」「こだわりの技術」などが県産果実のおいしさの理由と話しました。

飾り切り体験では、銀座三笠會館のフレンチシェフ宮崎大介さんの指導で、参加者がそれぞれ秋映1個を使い、家庭でも簡単にできてもてなしに大活躍する白鳥などのカットに挑戦しました。参加者はS N Sに掲載しようとして盛んに写真撮影をしていました。

※インターネット上の情報を収集し、まとめたインターネットサイト



飾り切りに挑戦する参加者



県産果実のおいしい理由を話す片桐課長

## 調理実習の食材を提供！

「一流シェフを講師に「味覚の授業」開催」

10月11日(火)、須坂市立高甫小学校で「味覚の授業」が行われ、全農長野県本部は調理実習の食材を提供しました。

5年生33名を対象にした授業は、2時間限目から4時間限目までを使って行われ、地産地消の大切さや「料理は味覚のほか五感をつかうことでもっとおいしくなる」など講師の話聞いた後、フランス・プロバンス地方の野菜煮込み料理「ラタトゥイユ」をグループに分かれて作りしました。児童は「予想よりもずつとおいしい」「初めて食べたけど懐かしい感じ」などと言いながら味見をしました。その後、講師のシェフと一緒に給食で自分たちが調理したラタトゥイユを試食しました。

「味覚の授業」は食べ物、味覚、安全な食材供給、バランスのとれた生活と食べ物の役割の重要性などを、学んでもらう授業です。フランスが発祥で1990年から「味覚の一週間」として始まり、日本では6年目を迎えます。県内では「おいしい信州カード(風土)」を食べよう！育てよう！地産地消キャンペーン推進委員会と長野県が共催、本会などが食材提供などで協賛、長野県調理師会、全日本料理士協会関東総合地方本部長野県本部が講師派遣に協力しています。



だしに塩を少々入れて味を確かめる



野菜を炒めてラタトゥイユを作る

## 真島副本部長が「一日店長」を！

「長野県A・コープ」「A・コープ松代店」

全農長野県本部真島茂夫副本部長は、9月23日(金)、(株)長野県A・コープの「A・コープ松代店」「一日店長」を勤めました。

「A・コープ一日店長」は、JAとA・コープ店舗のさらなる一体的な連携にむけて、同社取締役である各JA組合長・県本部副本部長が「一日店長」をつとめ、A・コープ店舗への要望やアドバイスを企画として今年から開催され、すでに6JAの組合長が参画しています。

地元松代出身であり、同店直売所の出荷者でもある真島副本部長からは、日頃の店舗業務へ思い・感謝の言葉とともに、「高齢者の多い地域であるので少量パックで買いやすい商品の提供」「生産者直売コーナーを中心にJAと協力した地産農産物の拡販」「拡販を通じての県内畜産事業基盤強化への協力依頼」などの要望・アドバイスがありました。

お客様・直売生産者・店舗社員との触れ合いを通じ、有意義な「A・コープ一日店長」企画となりました。



朝礼であいさつをする真島副本部長



生産者直売コーナーの商品を確認

協同組合フェスティバルは、長野県内における協同組合連携の一環として、組合員同士の交流や協同組合の活動を県民に広くアピールすることを目的に、関係団体で実行委員会を構成して毎年開催しています。



果実・きのこの販売で賑わうブース

# 本会事業に対してのご指導・ご鞭撻を！

「園芸友の会」全体会議を開催！

10月12日(水)、千曲市内で「園芸友の会」の全体会議が開催されました。

「園芸友の会」は、長野県経済連および全農長野県本部のOBで園芸事業に携わった方々で構成されています。参加は任意となっていますが、現在会員は117名を数えます。

秋の収穫期ということもあり、当日は22名の参加者でしたが、会議はこの1年間に亡くなった方々への黙祷から始まり、内久根賢彦会長のあいさつの後、過去1年間の経過報告・収支報告、会費の徴収方法などが承認され、併せて新たに入会された方々の紹介がされました。

本会からは小林哲男副本部長、髙田武司生産販売部長、片桐雅樹生産販売企画課長が同席しました。会員からは「卸売市場の状況はどうなっているのか」、「長野県産農

産物輸出の現状はどうか」、「生産資材の価格は今後どうなるのか」、「ジェネリック農薬はどうなっているのか」などの数多くの質問や、「〇〇に対して私はこう思う」という現役時代を彷彿させる意見が数多く出されました。『今なお現役』という言葉がぴったりの園芸友の会の皆様です。今後も年2回の会議（全体会議、役員会）等において、本会事業に対してのご指導・ご鞭撻を賜りたいと存じます。



## 掲示板

# A-Board

## 果実課より「麒麟 氷結® ストロング巨峰〈期間限定〉」新発売のお知らせ

麒麟ビール(株)の人気定番ブランド「氷結®」シリーズから、JA全農長野が原料を供給する長野県産巨峰の氷結® ストレート果汁を使用した「麒麟 氷結® ストロング巨峰〈期間限定〉」を11月8日(火)より全国で発売します。みずみずしい果汁感としっかりした飲みごたえ。ふくよかな甘さと華やかな香りが特徴の「麒麟氷結® ストロング巨峰〈期間限定〉」をぜひお楽しみ下さい。

- 商品名.....麒麟 氷結® ストロング巨峰〈期間限定〉
- 発売地域.....全国
- 発売日.....平成28年11月8日(火)
- 容量／容器.....350ml 缶／500ml 缶
- 価格.....オープン価格
- アルコール分.....9%



## 編集後記

今年も松本山雅FCホームゲームで、「全農長野アール」を開催させていただきました。公式発表によると入場者数は12,648人。来場いただいた大勢のサポーター・観客の皆様、イベントの携わったスタッフの皆様には、心から御礼を申し上げます。対戦相手のファジアーノ岡山のサポーターの方ともお話することができました。「岡山から応援に来ましたが、イベントパークにいろんなブースや催しがあつて、とても楽しめました。鍋やおにぎり、ソフトクリームもとても美味しかった！」と好印象のコメントをいただきました。それとは別に、「でもね 今日とは勝たせてもらいますよ。松本山雅は強いけど、勝ち点3は岡山に持つて帰ります！」と追加でキッパリ、桃太郎が鬼退治に来たような感じで言われ、このヤローと思ってしまうんですが、そこはホームタウンなので笑ってお見送りました。(Y)

## 11月の動き

|             |                  |                                                 |
|-------------|------------------|-------------------------------------------------|
| 総務広報課       | 11/2(水)          | 御嶽海関に県産農畜産物贈呈<br>出羽海部屋 九州場所宿舎                   |
|             | 11/11(金)         | JA長野県大会<br>JA長野県ビル・アクティーホール                     |
|             | 11/16(水)         | 農協法公布記念式典<br>JA長野県ビル・会議室                        |
|             | 11/20(日)         | 松本山雅FCホーム最終戦<br>きのこPRイベント<br>アルウィン              |
| 生産販売部       | 11/11(金)         | 野菜ソムリエKAORUと楽しもう！<br>「銀座de長野県きのこの日」<br>銀座NAGANO |
| 生産販売企画課     | 11/11(金)・12(土)   | 農林水産祭「実りのフェスティバル」<br>サンシャインシティ・ワールドインポートマート     |
|             | 11/22(火)         | 「農から楽しむ食の世界」<br>(りんご編)<br>信学会・裾花幼稚園             |
| 生産販売部・畜産酪農部 | 11/23(水・祝)・24(木) | 食の合戦・里山ものがたり<br>秋の大収穫祭<br>松代城跡 二の丸広場            |
| 畜産課         | 11/10(木)         | 第69回長野県畜産共進会<br>種牛の部<br>長野県中央家畜市場               |
|             | 11/28(月)         | 第37回信州和牛県内産校肉共助会<br>京都食肉市場(株)                   |

### 訂正とお詫び

10月号 (vol.449) におきまして、記載に誤りがありました。読者及び関係者の皆様にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びいたします。正しくは以下の通りです。

3 ページ 2 段目 (誤) JA長野ハケ岳 横森徳昭氏  
(正) JA長野ハケ岳 横森徳明氏

## 11月のラジオ番組表

| 放送日時                   | 放送局    | 番組名                            | 放送内容 (予定)                         |
|------------------------|--------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 11/1(水) 10:13          | SBCラジオ | 坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」     | 米(風さやか)                           |
| 11/1(水) 16:10          | SBCラジオ | 情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 | 「くらしと牛乳牛さんありがとう」<br>絵のコンクール表彰式の様子 |
| 11/8(水) 10:13          | SBCラジオ | 坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」     | えのきたけ                             |
| 11/8(水) 16:10          | SBCラジオ | 情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 | 楽市楽座の様子                           |
| 11/15(水) 10:13         | SBCラジオ | 坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」     | なめこ                               |
| 11/15(水) 16:10         | SBCラジオ | 情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 | ジャッジャングススクールの様子                   |
| 11/22(水) 10:13         | SBCラジオ | 坂ちゃんのずくだせえぶりでー内「ラジオカーレポート」     | サンふじ                              |
| 11/22(水) 16:10         | SBCラジオ | 情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 | 小山浩子先生の乳和食レシピ                     |
| 11/29(水) 16:10         | SBCラジオ | 情報わんさかGO!GO!ワイドらじ☆カン内「ミルクマガジン」 | 牛乳クイズ                             |
| 11/7、14、21、28(月) 17:30 | FM長野   | JA全農長野「発見!ながののゲンキ!〜みらいのミカタ」    | えのきたけ                             |

KIRIN

ストロングな新星！  
華やかに香る巨峰、堂々デビュー！

11.8  
期間限定

JA全農  
長野  
原料供給

ふくよかな甘さと華やかな香り。  
これぞ「巨峰」！

キリン氷結<sup>®</sup>STRONG 巨峰<sup>きよほう</sup>



ストップ！未成年者飲酒・飲酒運転。お酒は楽しく適量で。  
妊娠中・授乳期の飲酒はやめましょう。のんだあとはリサイクル。



キリンビール株式会社

グリーンリーダー11月号（毎月発行） 2016年10月20日発行  
発行／JA全農長野 長野市大字南長野北石堂町1177番地3  
第450号  
発行人／高木幸一郎 印刷／PO印刷株式会社 長野市青木島3丁目3番地3



光と風と水のハーモニー

JA全農長野



JA全農長野ホームページ ..... <http://www.nn.zennoh.or.jp>

インターネットで産地直送「JAタウン」 ..... <http://www.ja-town.com>

